

イノベーション部門

温室効果ガス排出量を2030年度までに30%以上削減！

～ 「アースプラン2017」の策定と地球温暖化対策の先進事例 ～

東京都下水道局

応募事例の概要

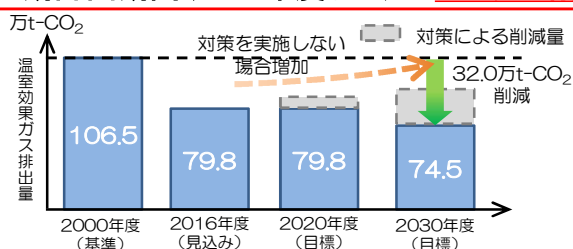
東京都下水道局では、下水道事業における地球温暖化防止計画「アースプラン2017」を策定し、6つの取組方針に基づき、温室効果ガス排出量を2030年度までに2000年度比で30%以上削減するという一段高い目標を掲げ、最新技術の先導的導入などを積極的に推進します。

「アースプラン2017」 6つの取組方針

- ①徹底した省エネルギー
- ②処理工程・方法の効率化
- ③再生可能エネルギーの活用
- ④技術開発
- ⑤協働の取組
- ⑥お客さまとの連携

温室効果ガス排出量の目標

- ・第一期計画期間(2020年度まで) 25%以上削減
- ・第二期計画期間(2030年度まで) 30%以上削減



再生可能エネルギーの活用事例

＜メガワット級太陽光発電設備＞
(森ヶ崎水再生センター、南多摩水再生センター)

下水道施設の空間を活用し、
1,000kW(メガワット級)の太陽光パネルを設置しました



技術開発事例

＜エネルギー供給型焼却システムの開発＞

焼却炉の廃熱により発電し、焼却炉自体で電気を自給し、さらに、
水処理施設や污泥処理施設にも電気を供給するシステムを開発します



PRポイント

「東京2020オリンピック・パラリンピックの開催」などを踏まえ、太陽光発電の導入などの具体的な削減対策を実施するとともに、新たな温室効果ガス削減対策の技術開発にも取り組み、**長期間の計画を確実に効果的に推進**していきます。

本プランの着実な実施により、快適な地球環境を次世代に継承するとともに、**「世界をリードするスマートエネルギー都市」の実現に大きく貢献**していきます。